

じんけん まど

# 人権の窓

令和7(2025)年度版

【部落差別(同和問題)編】

～作られた身分による差別をなくすために～



部落差別(同和問題)を考える

栃木県教育委員会



# 部落差別(同和問題)とは

「部落差別(同和問題)」とは、日本社会の歴史的発展の過程で形作られた身分的差別や歴史的・社会的に形成された人々の意識に起因する差別のことです。

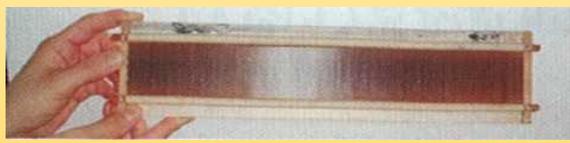
現在もなお、同和地区(被差別部落)の出身という理由で様々な差別を受け、基本的人権を侵害されている人々がいます。



封建制度の時代に、差別された身分の人々は役人のもとで地域の警備や武具・馬具や多くの生活用品に必要な皮革を作る仕事をするなど、生活に欠かせない役割を担っていました。しかし、住む場所、仕事、結婚、交際など、生活の様々な面で厳しい制限を受け、差別されていました。



はた織り機



おさ

はた織り機に必要な「おさ」作りも、差別された身分の人々がもつ技術により支えられていました。

※ 作られた皮革は、はき物の材料になりました。



(写真提供：日下田正氏)

詳しく知ろう！ 



ほうけんせいど  
封建制度



封建制度とは、鎌倉時代から江戸時代にかけて行われた、土地の給与を通じて主従関係が結ばれる制度のことです。

鎌倉時代には、幕府の将軍と家臣である御家人の間で御恩と奉公の関係が結ばれていました。また、江戸時代には、将軍を中心として、幕府と藩が全国の土地と民衆を支配しました。

(幕藩体制)



それらの人々が住まいとして決められていた所が  
「同和地区(被差別部落)」、そして、それらの人々に  
対する差別が「部落差別(同和問題)」といわれています。



部落差別(同和問題)は、<sup>わたし</sup>私たちが<sup>い</sup>生きる<sup>げんざい</sup>現在の<sup>かだい</sup>課題でもあります。<sup>つく</sup>作られた<sup>みぶん</sup>身分による<sup>さべつ</sup>差別をなくすために、<sup>い</sup>以下の<sup>か</sup>4つの<sup>ないよう</sup>内容について<sup>し</sup>知り、  
部落差別(同和問題)についての<sup>りかい</sup>理解を<sup>ふか</sup>深めましょう。



【<sup>い</sup>医学の<sup>はってん</sup>発展に<sup>こうけん</sup>貢献した<sup>ひとびと</sup>人々】



【<sup>しぶそめい</sup>渋染一揆】



【<sup>ぜんこくすい</sup>全国水平社】



【<sup>せんご</sup>戦後の<sup>とりくみ</sup>取組】

ここからダウンロード  
できるまる！  
<https://www.pref.toc.higi.lg.jp/m01/jinken-mado07.html>

